

CLP-105UV 紫外用イメージング分光器



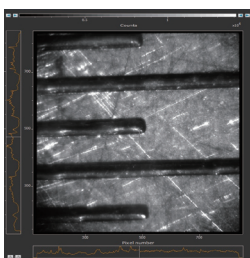
無収差カメラ交換レンズを使用し、空間分解能・波長分解能に優れたイメージング分光器です。顕微鏡に接続し、画像イメージ観察及びスペクトル測定が可能です。

CLP-105UVは紫外線撮影用カメラレンズ(焦点距離 105mm)により波長 220 ~ 900nm で使用が可能となりました。

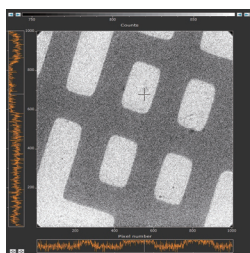
- 波長 220 ~ 900nm において、空間分解能に優れたイメージング分光器です。
- 紫外線撮影用カメラレンズを使用していますので、プラズマ・燃焼・放電などの測定に最適です。
- 画像観察用に平面鏡を搭載し、画像確認とスペクトル測定を瞬時に切り換えが可能です。
- オプションで回折格子は最大 3 枚が搭載可能です。高分解能・広帯域など用途に合わせた回折格子の選択が可能です。

画像データ

顕微鏡に CLP-105UV を接続 CCD サイズ 8mm スリット開口サイズ 8mm
画像観察用平面鏡に切換



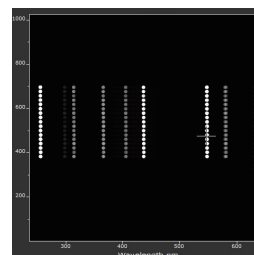
CLP-105UV の画像観察用の平面鏡を使用し、スケールを拡大鏡で観察した画像データです。線の間隔 0.5mm となっており、空間分解能に優れた画像が取得出来ます。



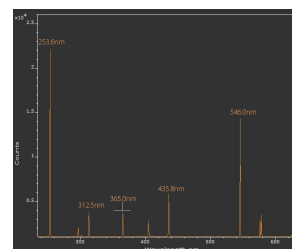
CLP-105UV の画像観察用の平面鏡を使用し、レクチルを顕微鏡で拡大し、観察した画像データです。線の太さ 5µm となっており、空間分解能に優れた画像が取得出来ます。

測定データ

低圧水銀ランプを測定 回折格子 300 本使用
中心波長 435.8nm で測定



CLP-105UV の入射スリットに光ファイバコアを縦に並べた時のスペクトルデータです。CCD 全面における光ファイバコア間の交わり合いがなく、空間分解能に優れている事がわかります。



上記測定データからコア 1 個のみをピックアップしたスペクトルデータです。コア間の交わり合いが無い為、他のコアにおいても同様の分光スペクトルデータを取得出来ます。1 台の分光器で多点同時分光測定が可能です。

仕様

光学配置	無収差レンズ系特殊光学配置
焦点距離	105mm
口径比	F=4.5
使用波長範囲	220 ~ 900nm * ¹
分散	約 7.2nm/mm* ² 約 0.06nm/pixel * ² (波長 256nm において)
測定波長域	約 58.8nm/8.192mm* ²
波長走査方式	サインバー機構・波長リニア走査
波長表示	カウンタ表示 最小 1nm、最小目盛 0.1nm
入射スリット	幅 =max10mm、読取目盛 =0.02 ~ 10mm
出射口	CCD マウント検知器ホルダ

*¹ 近赤外域では、ピント調整が必要です。*² 回折格子は 1200 本、CCD 検出器は 1024×1024pixel、1pixel あたり 8μm を使用した場合の仕様です。

標準構成

- 紫外用イメージング分光器 本体
- 回折格子 1200 本 300nm プレーズ
- 画像 / スペクトル切換機構 (手動切換)
- CCD ホルダ (標準仕様)
- 取扱説明書

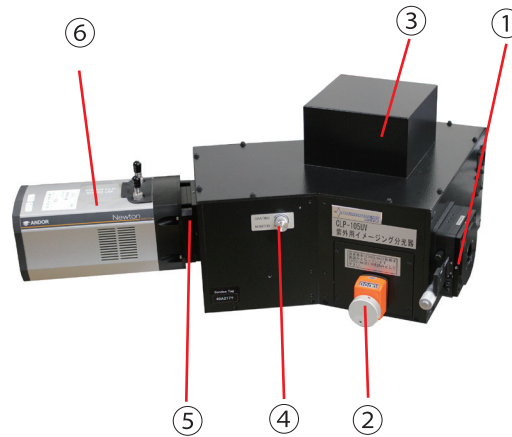
オプション品

- 各種回折格子
- 各種 CCD 検出器
- 回折格子自動切換機構 (最大 3 枚搭載可能)
- 画像確認用平面鏡自動切換機構
- 波長駆動機構
- 入射スリット自動機構
- V 字型縦絞り

設置環境

・寸法：約 W340×D350×H280mm

外観図



- ①入射スリット
- ②波長ダイヤル及び波長カウンタ
- ③回折格子自動切換機構 (オプション)
- ④画像 / スペクトル切換機構
- ⑤CCD ホルダ
- ⑥CCD 検出器 (オプション品)

●記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります。

< CLP-105UV-1710047N >

分光計器株式会社

<http://www.bunkoukeiki.co.jp/>

本社・工場 〒192-0033 東京都八王子市高倉町 4-8

TEL 042(646)4123 FAX 042(644)3881

東日本営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-23-1

TEL 03(3837)1021 FAX 03(3837)1023

西日本営業所 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新 3-24-5

TEL 06(6323)4502 FAX 06(6323)4902

●お問い合わせは